

2004年11月日语三级笔译实务试题（上）PDF转换可能丢失
图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/131/2021_2022_2004_E5_B9_B411_E6_c95_131172.htm 一、次の日本の文章を中国に翻しな

さい。（60分）文章1（35分）これまでしてきたように、技
のでは、むべき方向について五里中の状にあり、その意味
で研究をめるうえで不性は不可避である。それは、可能な
肢が明に定され、そこから何らかの基にあてはめて最なも
のをんでいくといったものではなく、しながら学していく
プロセスである。そこでは、技的条件とともに社会的要素
が技に大きな影を及ぼす。またこの程では科学が技のの供
とともに解に大きな役割を果たす。こうした点は企の技の
あり方や、技にかかわる国の政策、制度にも重要な含意を
持っている。企のイノベーションマネジメントには、日常的
な企のマネジメントとはなる知とスキルが必要となる。「
技と市との化のマネジメント」でなければならない。この
三つの化を合的に管理していくことこそがイノベーション
マネジメントである。造や企文化をえるだけではなく、企の
内部と外部とのびつき方のデザインを考えることが重要で
ある。技にかかわる政策、制度の立案やも、イノベーション
プロセスのこうした性の理解の上に立つべきである。研究
が不性にち、需要の化などの社会的要因の影を受けること
から、期的には市能を重した技のが局は有になる。不性は
市能を通じて分散させる、需要の向は市にく、ということが
重要である。政策や制度は、々の技の振策などミクロ的
なに始するのではなく、市におけるイノベーションプロセス

がより果的に能する土づくりに留意すべきである。科学的な研究を公的に支援し、科学的知が富に生まれ、またその成果がく利用される仕みをつくることが何より重要である。米国において、トランジスタ、子みえのような基的技が果的に安いライセンス料でにでも利用できたということ、大学に公的な金が十分投入され、科学的知と人材が多く生み出されたことが、エレクトロニクス、バイオの展の基となったことをすべきであろう。文章2（25分）人生は山あり谷ありだから、山があればいずれ谷が来るし、谷があればいずれ山が来る。たとえ谷に落ちんでも慌てず、自然の成り行きとして谷を脱することができるだろうと、を待っていればやがて山を迎えることができる。泰然としていればいいのである。ところが、人はそう的に生きることができない。谷に落ちむと追いめられた分になって、つい神にりたくなる。藁にもすがりたい持ちに追いまれるのだ。やがて、の流れとともに、谷の期が去って山の期がやってくるのだが、それをんだ神のおだと信じんでしまうことになる。そこが、怪しげな宗教のつけ目なのである。皮肉な言い方をすれば、不のときの神みは必ずき目があるのだ。人は、好のときは神みせず、不のときに神にろうとする。何もせずにいる、そのうちに不は去って好がってくるのだが、焦って神にってしてしまうのだ。そして好がると、いかにも神にんだから幸がれたと解してしまふ。人が宗教や占いなどに囚われるのは、このような解のためである。その意味では、幸グッズを考え出した人は、人の心理をみ解く人であったと言うべきだろう。ほんの小で幸がえたと解し感

までしてくれるのだから。好のときはやがて不も来ると心を引きめ、不のときはいずれ好がってくるの的に生きる、それが山あり谷ありの人生のではないだろうか。かく言う私だとして、言うは易し、行うはし、なのだけれど。2004年11月日语三级笔译实务试题答案（上）100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com